



カブドットコム証券株式会社  
(コード番号：8703 東証1部)  
代表執行役社長 齋藤 正勝

2003年2月27日

株式委託手数料の一部改訂 & 同一日同一銘柄の回数制限撤廃  
～ ±指値の追加手数料を現物は無料、信用は1000円に。～

カブドットコム証券株式会社は、3月1日（土）より条件注文「±指値（プラマイさしね）」の追加手数料を、現物取引では無料に、信用取引では1000円に改訂致します。また、同一日同一銘柄の現物株式売買でのお取引回数制限を、2月28日（金）より撤廃致します。

#### ■株式委託手数料の改定

±指値にかかる追加手数料を以下のように引き下げます。

	2003年2月末まで	2003年3月1日から
現物取引	+1,000円	0円
信用取引	+2,000円	+1,000円

※2003年2月末まではキャンペーン価格として、現物取引は+500円、信用取引は+1000円の半額にて提供。

→ [手数料・コストについてはこちら](#)

今回の±指値の現物株式における追加手数料の無料化、信用取引における追加手数料1,000円への値下げにより、仕掛けから反対売買までフルオートの注文設定が可能な±指値をより身近な注文方法として、個人投資家の皆様にご利用いただけるものと確信しています。

#### ■同一日同一銘柄の現物株式売買での取引回数制限撤廃 2月28日（金）より実施

同一銘柄の現物株式をお取引いただく場合、買付可能額に余裕がある場合でも、1日あたりその取引回数につき「買い」→「売り」→「買い」までを上限とさせていただいていました。今回この回数制限を撤廃し、買付可能額の範囲内であれば、取引の制限なく何度でもご注文いただくことが可能といたしました。

この撤廃により、現物株式をお取引のお客さまも買付可能額の範囲内で売買回数の制限なく同一銘柄の売買が可能となり、信用取引同様、より機動的な株式投資が可能となります。

#### 【非前金制の買付可能額】

当社の現物の株式買付可能額の計算方法は、お客様の預り資産（預り証券+MRF）の範囲内としており、事前にお買付代金相当額の預り金（MRF）がなくとも、現物株式の注文を承ることが可能です。

#### 【不足代金の自動引落】

また、自動引落しのご契約をされていれば、買付け代金の不足分を自動的に計算し、受渡日に登録の銀行口座から自動的に引き落とすことが可能です。

#### 【変更理由】

ただし、同一日同一銘柄の複数回の取引については、差金決済に類する可能性があるとの判断から、買付可能額に余裕がある場合でも、1日あたりその取引回数につき上限を設けていました。しかし、東京証券取引所会員部考査室によるケーススタディにおいて差金決済に該当する取引が明確化されたことにより、合計の買付け代金の入金があれば、同一日同一銘柄の複数回の取引は差金決済に該当しないと判断され、今回この同一日同一銘柄の取引回数の制限を撤廃することといたしました。

【参考例】 お預り金（MRF）20万円、お預かり株式の時価80万円（買付可能額100万円）で時価30万円の株式を日計りで売買する場合（便宜上手数料等は考慮せず）

	お預り金(MRF) お預り証券	1回目		2回目		3回目	
		買付け	売却	買付け	売却	買付け	売却
従来のルール		○	○	○	×	×	×
新ルール		○	○	○	○	○	○
必要金額		30万円	-	30万円	-	30万円	-
買付可能額	100万円	70万円	-	40万円	-	10万円	-

※従来ルールでは、買付可能額があっても、「買」→「売」→「買」以降は注文できませんでした。

※日計り売買では、当日買付けた株式の売却代金は当日の買付可能額には反映しません。

（翌日反映）

※買付可能額は「お預り金（MRF）20万円」＋「お預かり株式の時価80万円」＝100万円となります。

カブドットコム証券のお客様は、これら手数料改定・取引ルール改定に加え、従来からご好評いただいております「逆指値」「W指値」をはじめとした多彩な条件注文や、複数日にわたる内出来でも手数料が変わらないワンショット手数料などをご利用いただくことにより、リスク管理を実践しながらも、より機動的でフレキシブルな株式投資が可能となります。

カブドットコム証券では、売買注文の取次においてもお客様に付加価値をご提供することができると考え、今後もより充実したサービスを提供して参ります。